

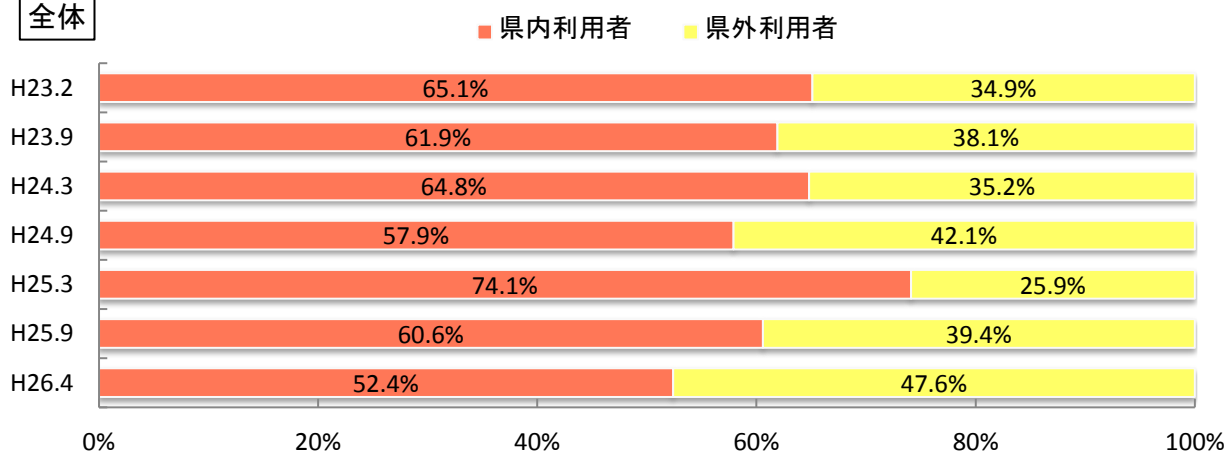
平成26年度 第1回 信州まつもと空港搭乗者アンケート調査 (平成26年4月16日～22日)における利用者の動向

- 1 実施期間 平成26年4月16日(水)～22日(火)
- 2 調査方法 信州まつもと空港搭乗待合室で配布し同室内で回収する方式
- 3 調査対象 信州まつもと空港定期便の出発便の搭乗者
- 4 有効回収票数 札幌便 133票 福岡便 140票 合計 273票

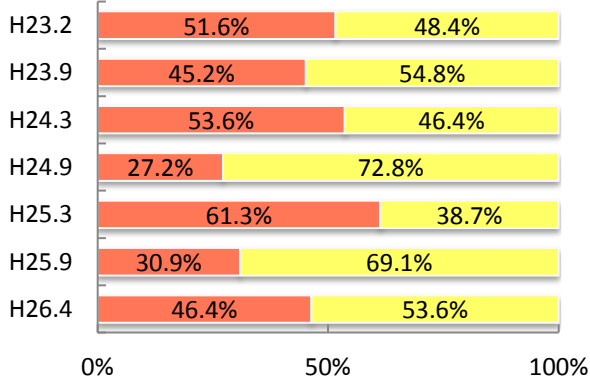
【県内・県外利用者の状況】

定期便全体では、県内利用者の割合が52.4%、県外利用者の割合が47.6%となった。路線別では、福岡便では、県内利用者の割合が46.4%、県外利用者の割合が53.6%となっており、県外利用者の割合が引き続き高い傾向にある。札幌便では、県内利用者の割合が58.6%、県外利用者の割合が41.4%となっており、県外利用者の割合が過去の調査と比較して高い割合を示した。

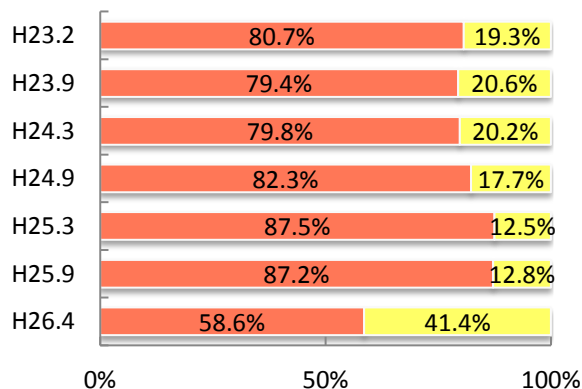
全体



福岡便

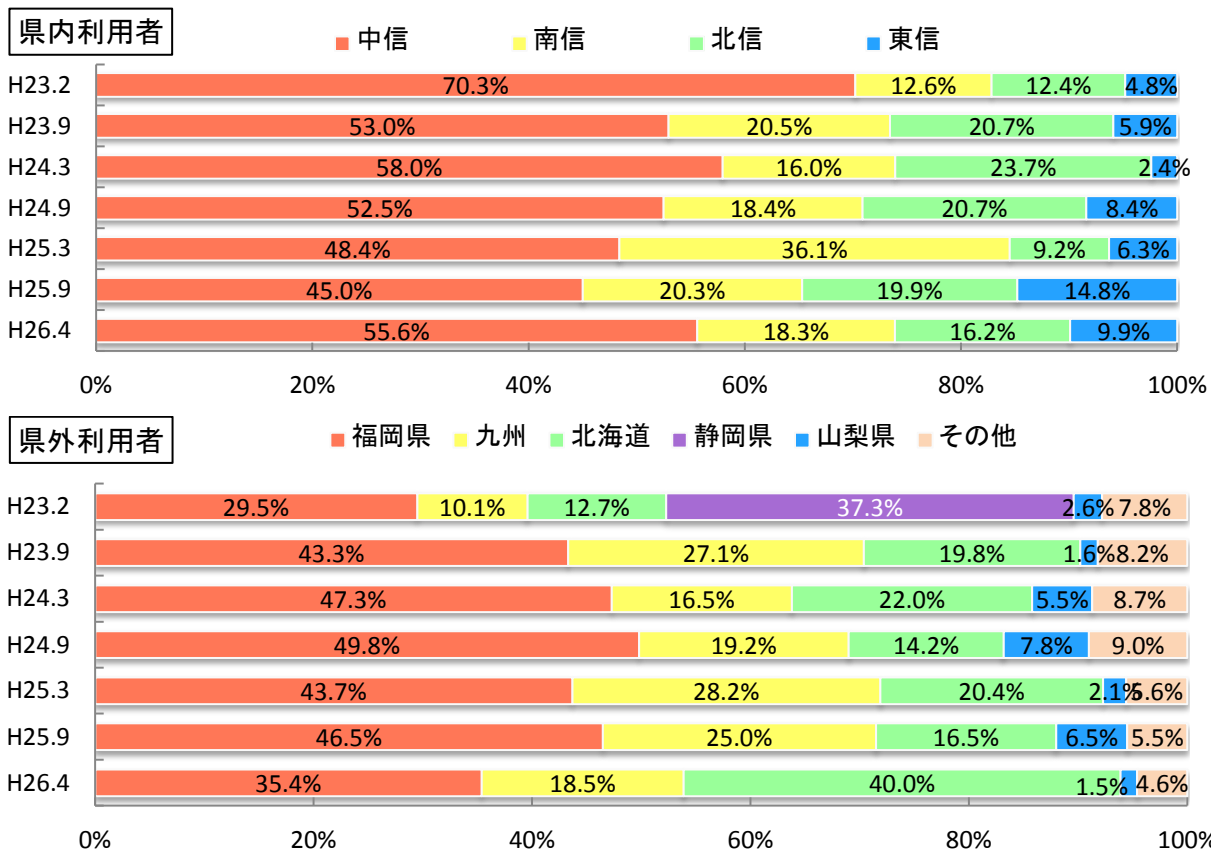


札幌便



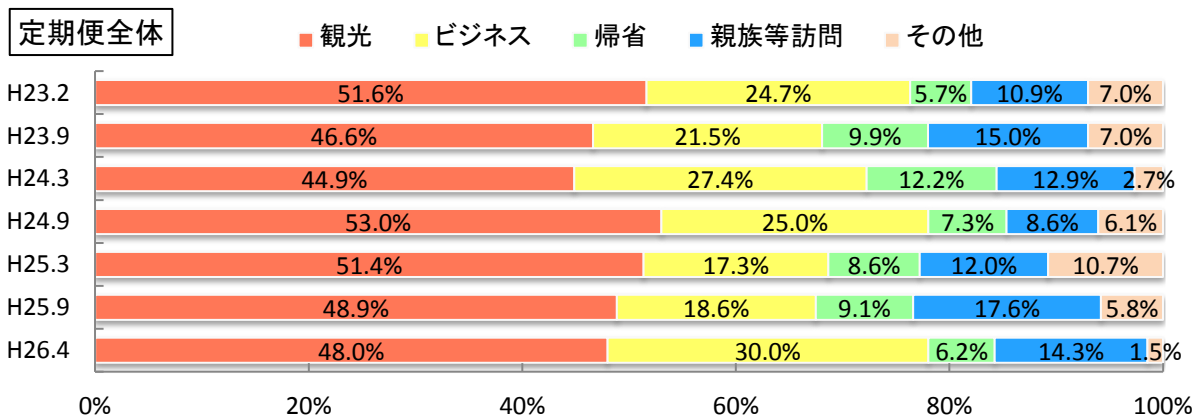
【利用者の居住地】

居住地地別に見ると、県内利用者では中信が55.6%と約半数を占めているが、南信が18.3%。北信が16.3%、東信が9.9%と中信以外においてもある程度の割合を示している。県外利用者では福岡県も含めた九州地区からの利用者の53.9%に次いで、北海道からの利用者が40.0%となっており、これは過去の調査と比較して高い割合となっている。

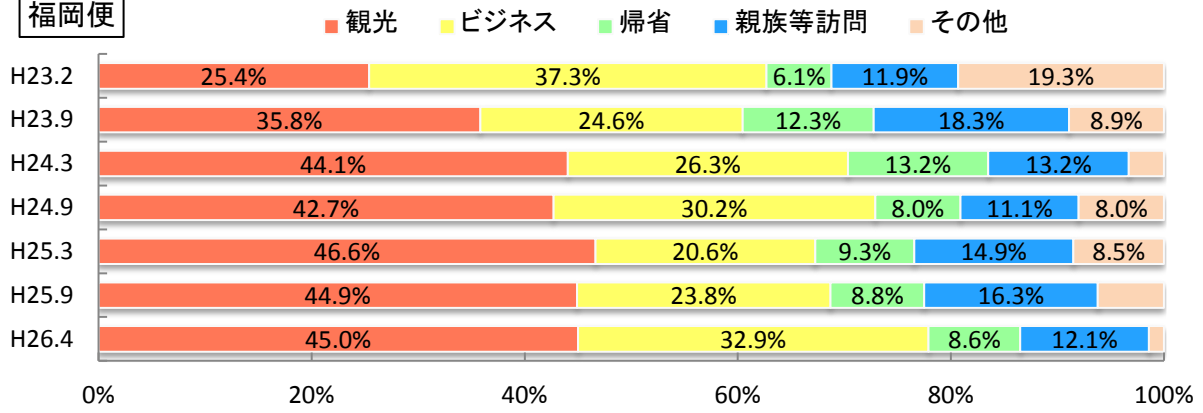


【旅行目的】

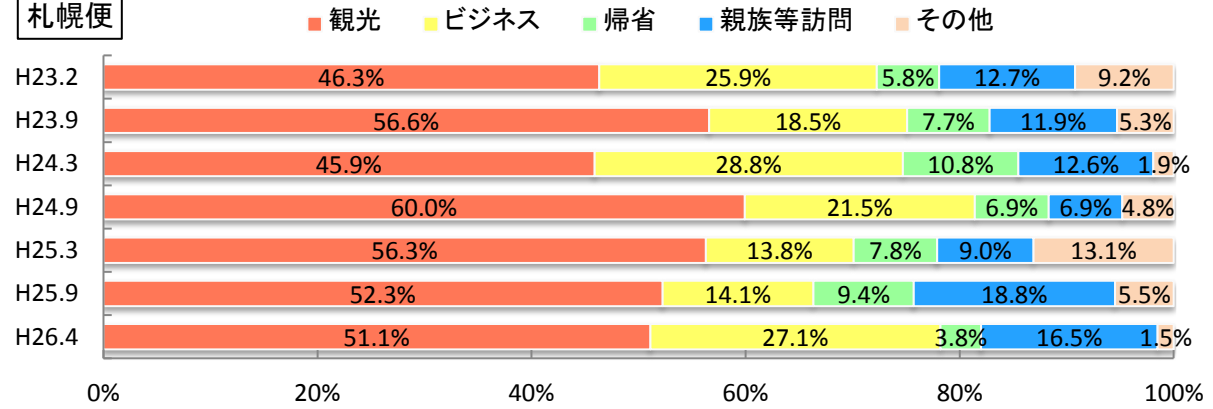
定期便全体では観光目的が48.0%、ビジネス目的が30.0%となっており、過去の調査と比較して、観光目的が同水準である一方、ビジネス目的が目立っている。福岡便でも、観光目的が45.0%、ビジネス目的が32.9%、札幌便では、観光目的が51.1%、ビジネス目的が27.1%と同様の傾向を示している。特に札幌便のビジネス目的の割合は、前回調査時の2倍となっている。



福岡便

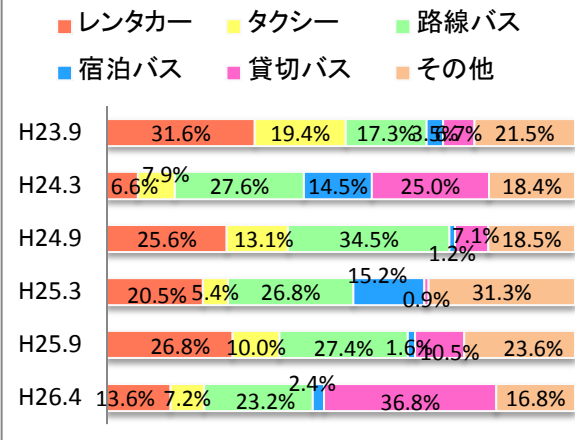


札幌便

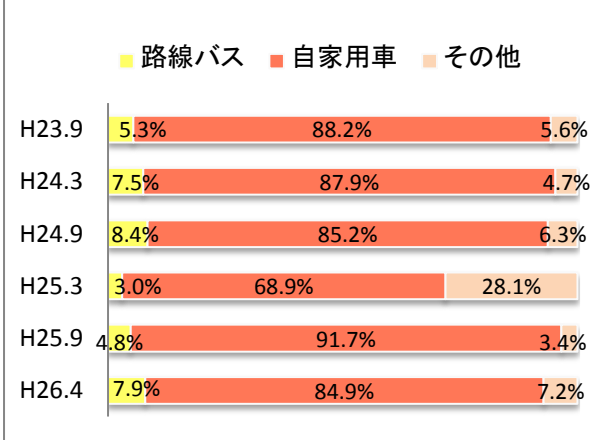


【参考:その他調査項目】

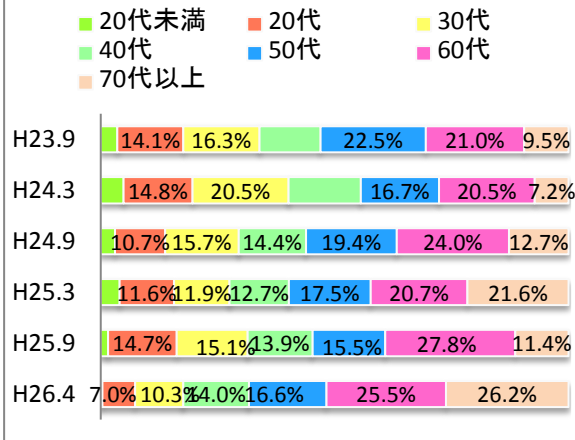
県外利用者 空港からの交通手段



県内利用者 空港までの交通手段



利用者年齢層



旅行日程

